

身のまわりルポ

身近なものになぜ.....

ごみ・ごみ・ごみ・ごみ...を追って

身近な問題なのですが、忘れられるのが「ごみ」。たったポリバケツ一杯のごみでもばかにはなりません。「ちりもつもれば.....」といえます。



今回は、ごみ問題をとりあげてみました。たった一杯のごみ.....それが私たちの暮らしにどのようなかわりをもつか、いま一度よく考えてみましょう。



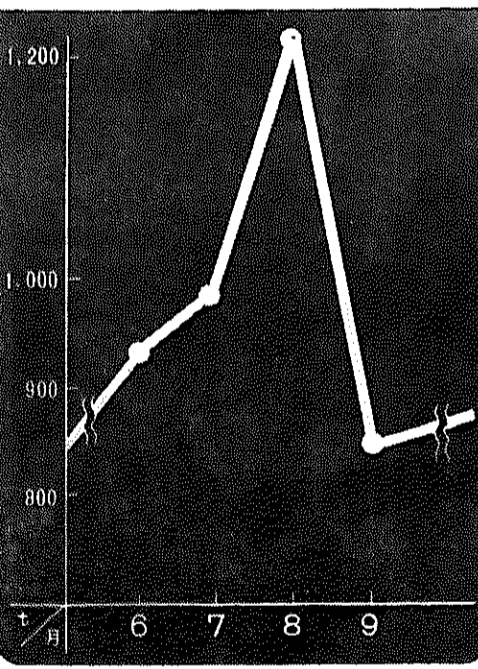
出席者の皆さん

- 小林いみさん (横町乙)
- 石黒ウメさん (下町乙)
- 関 ミスさん (川前甲)
- 関川昭子さん (中町)
- 野沢 操さん (横町乙)

どのような方法でごみを処理しているか、新飯田地区の人にいろいろお聞きしてみました。町内のごみ集積所はどのように決めていますか。小林 横町の場合は、だいたい五ノ八戸の組で一か月交代に集積所をひき受けています。関川 私のところは一年交代です。その年の町内会長の前がステーションになります。野沢 私も横町ですが、確かに一か月交代はいいと思います。自分の家の前が集積所になったときのことを考えると、無責任な出し方はできません。——ごみは収集日の当日出すことになっていますが.....石黒 そうですね、守らない人はあまり見うけられませんよ、そういった人がいた場合はお互いに注意し合っているように決めていますか。

持出し時間は 守って..... 週三回は、皆さんの各町内へ、ごみ収集車がまわっています。私たちの近くにある「ごみ集積所」は、本来は「ごみを集める」にのせるためのもので、置いておく場所ではありません。燃えるもの、燃えないものは区別して..... 燃えるごみと燃えないごみの収集日はちがいます。各集積所にある日程表にそって、区別して出してください。これからは、スイカの皮など水分を多くふくんだごみがふえます。このようなごみは、水分さえ切ってもうえば、焼却場で大助かりです。グラフでもわかるように、ふえるのはこれからです。——その他ごみ収集などについて意見、要望は。野沢 時間帯の変更などがあつたら知らせしてほしい。関 チャイムがよく聞こえるように。関川 河川への不法投棄は絶対にやめてもらわなければ——その水を私たちが飲んでますから。小林 とにかく私たち主婦が中心となって、まず自分の家からは、不要なごみは出さないという心がけが大切かと思えます。——どうも、ご協力ありがとうございました。

燃えるごみと燃えないごみの収集日はちがいます。各集積所にある日程表にそって、区別して出してください。これからは、スイカの皮など水分を多くふくんだごみがふえます。このようなごみは、水分さえ切ってもうえば、焼却場で大助かりです。グラフでもわかるように、ふえるのはこれからです。——その他ごみ収集などについて意見、要望は。野沢 時間帯の変更などがあつたら知らせしてほしい。関 チャイムがよく聞こえるように。関川 河川への不法投棄は絶対にやめてもらわなければ——その水を私たちが飲んでますから。小林 とにかく私たち主婦が中心となって、まず自分の家からは、不要なごみは出さないという心がけが大切かと思えます。——どうも、ご協力ありがとうございました。



■土地改良区で: 河川や用水路への不法投棄があとをたちません。なにげなくするごみが、どのような被害をまねるか。土地改良区の小林用排水係長に伺ってみました。——年間どのくらいの量のゴミがすてられていますか。小林 町部に近い用排水路が

■集めるほうでは: 清掃社の上杉貞夫さんは——皆さんのご協力で、一般ごみの収集は軌道にのっています。ただ、不燃物の収集がうまくいっていません。ガラス類やブリキ類をまぜて出す人が多く、搬入後の処理に困っています。各地区とも、ガラス類はその月の前半(一日から十五日の間)に一回、ブリキ類はその月の後半(十六日から月末の間)に一回、それぞれ区別して収集しています。農薬のビンや処理する場合、たいへん危険ですから、収集はしていません。したがって自家処理をお願いしています。自家処理は穴を掘って埋めるのが、一番良い方法です。集積所前に車の駐車をしないようお願いしています。



▲ 共同の場です。みんなで協力し合って、きれいにしましょう。

いつもきれいな集積所 当番を決めて掃除 旭町一、桜町二、三の人たちが(二十五世帯)が、共同で使用している集積所は、いつも整理されています。利用者が当番を決め、収集車がゴミを積んで行ったあと、みんなできれいにしているものです。

川は泣いている..... ひと口でいえば、河川や用排水路へごみをすてないこと——これしか道はありません。困まるのは、棒きれなどにゴミがひっかかり、ちょっとした雨でも水害になることです。簡単なようでむずかしい、しかしやる気になればできること。いま一度身のまわりを見回して考えたいものです。

小林 昨年一年間で、用排水路から上げられたごみは、二トンのトラックで、約七百台分という脚大な量でした。——それらを処理するにどれだけの経費がかかりましたか。小林 人件費、車代など入れて約百八十万円。これだけの大金を投じているのですから、ばかにはなりません。——場所としてはどのへんの用排水路が一番被害を受けますか。小林 町部に近い用排水路が

白根排水路上に、トラックの荷台を利用して作った集積所。水洗いもできるよう、排水口も取り付けられています。以前は、橋の上に直接置いていたため、車が通ると、ごみが用水に落ちることもしばしばありました。もうその心配もありません。廃車を利用したグットアイデアといえます。また、ついでに当日でれない人がいれば、手のすいている人が手伝うなど、協力体制も万全です。収集所近くの今井さんは「皆さんと話し合い、当番を決めたのですが、本当によかったと思います。そうでない、集積所、近くの人は散らかしてもおけず、どうしても後始末をしなければならぬようになってしまいました」と、話しておられました。集積所は、みんなの共同の場なんです。協力し合って、きれいにしていきたいものです。

わが家のごみの出し方 庄瀬 羽入孝子(主婦) 台所のごみと、他のごみをわけて、収集日の朝にかならず出します。水分のあるごみは、水をよく切り、ビニール袋二枚を重ね、少ない目にしてつめます。多くつめると破れる心配がありますので..... また、昨年から物価高で、まだ使えるものはくふうして、すてないように心がけています。おかげで、ごみの出す量が少なくなりました。

小林 通水が悪くなり、上流部はいつも水が不足になるという現象が起きています。また、機械排水をするところでは、運転をやめなければなりません。これが原因で、稲の育成にも大きな影響を与えることにもなります。